

みなさん、こんにちは。

週末、冷たい雨が降り続きましたが、18日(土)・19日(日)の「関西文化の日」には大勢の方が博物館に来館されました。

1. ギターとマンドリンのロビーコンサートに300人超の人が

18日(土) 14:00からの稲垣 稔さんと佐久間絵理さんによるギターとマンドリンのロビーコンサートには300人を超える人が集まりました。1階に用意したイス席は開演1時間前から満席状態、2階の渡り廊下も立見でいっぱいとなり、「明石市美術展」を観覧された方もロビーに広がるギターとマンドリンの音色にうっとり酔いしていました。モーツァルトやシューベルトのクラシックから映画音楽やタンゴまで、アンコールを含め全12曲を息の合ったデュオとギターソロで演奏されました。

「本当にたくさんの方に聴いていただけてよかったです。博物館のこの空間は、音の反響がとってもよくて、お客さんが多いほどいい音になると思いますよ。今日は本当に気持ちよく演奏できました」と稲垣さん。



超満員のロビー



息の合ったデュオ



ギターソロ

次回公演予定：第17回 ニューイヤークラシック ギター&マンドリン

平成19年1月13日(土) 17:00～ 明石市生涯学習センター(アスパア明石北館8階)

2. ワークショップ「布ぞうり作り」

18日(土)10:00から好評のワークショップ「布ぞうり作り」を実施しました。布団カバーや古いシーツ、エプロン、浴衣などを持ち寄り、ボランティアさんに教えてもらいながら、思い思いのぞうりを編み上げました。「この布ぞうり、エコの意味でもとってもいいですね。布を再生できるのが素晴らしい」といった声や「近所の人履いていて、私も作りたかったんです」「妹が外反母趾なので、このぞうりをプレゼントしてあげます」という人も。できあがったぞうりはどれも色鮮やかで、回を重ねるたびに完成度が高くなっているようです。「次は母のぞうり、孫のぞうりと楽しみが増えますね」と和坂から参加された女性。



まずは布を裂いていきます



難しいけれど手作りのよさがあります



今回も色とりどりの作品が完成!

好評につき、次回の「布ぞうり作り」は12月10日(日)を予定しています。

- ・12月1日(金)9:00より電話受付開始。
- ・定員15名、参加費300円、別途博物館観覧料が必要です。
- ・持ち物：古シーツ1枚かシャツ5～6枚程度 of 古布、裁縫道具、昼食
布は裂かずに持ってきてください。